

横浜市南部における外来種ガビチョウの分布

小嶋 紀行

Noriyuki Kojima: Distribution of Chinese Hwamei *Garrulax canorus* in Southern Areas of Yokohama City

はじめに

人為によって意図的、あるいは非意図的に自然分布域外に導入された外来種は、1) 生物間相互作用を通じて在来種を脅かす、2) 雑種形成により在来種の純系を喪失させる、3) 生態系の物理的な基盤を変化させる、4) 人に病気や危害を加える、5) 農林水産業に悪影響を及ぼす、など様々な影響が指摘されている（日本生態学会編、2002）。神奈川県下に分布する外来種は、哺乳類ではアライグマや台湾リス（日本生態学会編、2002）、鳥類ではコジュケイ、ソウシチョウ、ガビチョウ（生物多様性センター編、2004）などが広く知られている。

これらのうち、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で特定外来生物に指定されているガビチョウは中国から東南アジア、台湾にかけて生息するチメドリ科の小鳥で、1980年代以降に九州北部、長野県、山梨県、関東西部、東北南部など全国各地で分布を広げている（堀田ほか、2011; Kawakami & Yamaguchi, 2004; 川上、2004; 坂田・西、2010; 佐藤、2000）。神奈川県においても、1991年に旧藤野町（現、

相模原市緑区）で記録された後（日本野鳥の会神奈川支部編、2013）、県北部を中心に相模川以西の県西部に分布を広げていることが報告されている（山口、2000）。2001年以降には、相模川以東の県東部でも生息が確認され、横浜市栄区および川崎市多摩区では繁殖も報告されている（日本野鳥の会神奈川支部編、2007; 日本野鳥の会神奈川支部編、2013）。これらの記録から、約20年の間に神奈川県内で急速に分布域を拡大していることが推察される。

そこで本研究では、本種が近年分布を拡大している横浜市南部において、その分布の変遷状況を明らかにすることを目的として調査を行った。

調査地および調査方法

2013年12月から2014年7月にかけて、横浜市南部（栄区・港南区・磯子区・金沢区・南区・中区）および鎌倉市に位置する16ヶ所の緑地においてガビチョウの分布状況を調査した（表1）。本種は主に森林に生息することが知られているため（川上、2004）、芝生や緑化林の

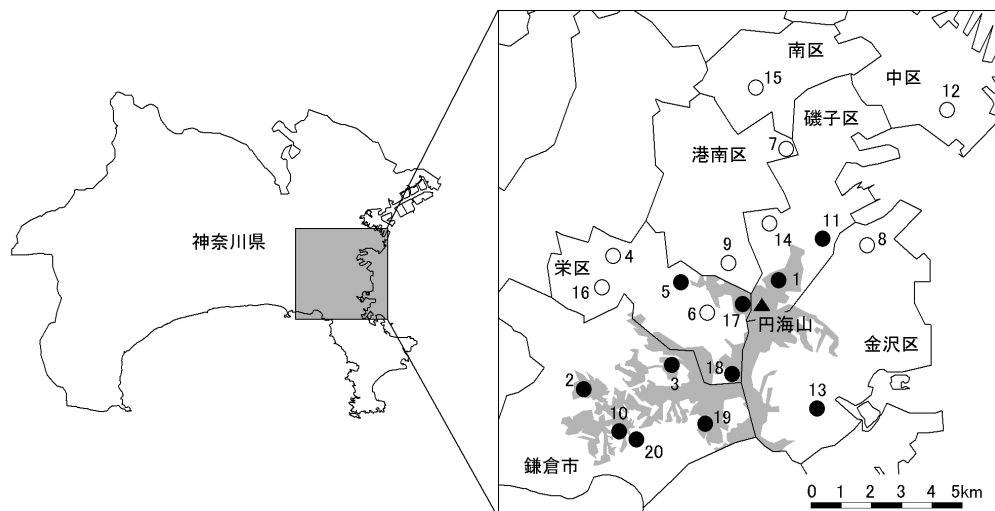


図1. 調査地とガビチョウの分布状況。黒丸（●）と白丸（○）は、それぞれガビチョウの分布を確認した調査地と、確認できなかった調査地を示している。図中の灰色で示した部分は「円海山緑地」を示している。図中の数字は、表1に示した調査地の番号と対応している。国土地理院承認 平14総復第149号。

表 1. 調査地の概要と調査年月日

番号	名称	地区	調査日			
			第1回	第2回	第3回	第4回
1	峯市民の森	磯子区	2013/12/01	2013/12/14	2014/02/22	2014/4/19
2	鎌倉中央公園	鎌倉市	2013/12/14	2014/02/23	2014/05/03	
3	散在ガ池森林公園	鎌倉市	2013/12/15	2014/01/02	2014/03/26	2014/7/26
4	飯島市民の森	栄区	2013/12/15	2014/02/01	2014/04/12	
5	本郷ふじやま公園	栄区	2013/12/21	2014/03/08	2014/05/04	
6	上郷市民の森	栄区	2013/12/21	2014/03/08	2014/05/04	
7	久良岐公園	港南区	2013/12/22	2014/03/09	2014/05/09	
8	富岡総合公園	金沢区	2013/12/23	2014/02/22	2014/05/03	
9	港南台中央公園	港南区	2013/12/29	2014/02/22	2014/04/05	2014/7/26
10	源氏山公園	鎌倉市	2013/12/31	2014/04/05	2014/07/06	
11	坪呑公園	磯子区	2014/01/02	2014/02/01	2014/04/12	
12	三溪園	中区	2014/01/03	2014/03/15	2014/05/18	
13	権現山	金沢区	2014/01/04	2014/03/21	2014/07/12	
14	洋光台北公園	磯子区	2014/03/01	2014/04/05	2014/07/06	
15	弘明寺公園	南区	2014/03/12	2014/04/16	2014/05/14	2014/7/20
16	飯島南公園	栄区	2014/04/05	2014/04/12	2014/07/06	
17	瀬上市民の森*	栄区	2014/05/24			
18	横浜自然観察の森*	栄区	2014/05/24			
19	瑞泉寺*	鎌倉市	2014/05/24			
20	寿福金剛禅寺*	鎌倉市	2014/04/05	2014/07/06		

灰色で示した調査日は、ガビチョウを確認した調査日となる。また、*を付した4つの調査地は、移動中や散策中に本種を発見した地点となる。

みで構成された緑地は対象外とし、落葉広葉樹や常緑広葉樹などから成る樹林を有する緑地を調査地とした。

調査方法は、歩道や登山道を利用して緑地内を歩き、直接観察とさえずりで本種を確認した場所を地図上に記録した。調査には、8倍の双眼鏡を使用した。特に本種を直接観察した時には、個体数、植生、行動についても併せて記録した。さらに、調査地への移動中や散策中などに本種を確認した場合にも、本種を確認した場所を記録した。

なお、本種の分布域を示す白地図の作成には、フリーウェアの Kenmap ver9.11 (鎌田, 2014) を使用した。

結 果

ガビチョウの分布状況

16ヶ所の調査地の内、峯市民の森、鎌倉中央公園、散在ガ池森林公園、本郷ふじやま公園、源氏山公園、坪呑公園、権現山の7ヶ所において、直接観察とさえずりでガビチョウの生息を確認した(表2)。

また、上記の調査地以外では、瀬上市民の森(栄区)、横浜自然観察の森(栄区)、瑞泉寺(鎌倉市)、寿福金剛禅寺(鎌倉市)の4ヶ所において本種の生息をさえずりにより確認した(表2)。

今回の調査によりガビチョウの生息を確認した場所は、峯市民の森、散在ガ池市民の森など、円海山と連続的に繋がっている緑地(以下、円海山緑地)や、その周辺に位置する緑地が大半であった(図1)。一方で、市街地の中に孤立した緑地(三溪園、弘明寺公園、飯島市民の森など)の多くで、本種の生息を確認できなかった。

直接観察によって生息を確認した地点は、大半が広葉樹二次林であり、林床でアズマネザサが優占していた(表2)。また、発見時の行動は採餌もしくは移動で、さえずりによって発見した例はなかった。

ガビチョウの分布域の変化

本調査地域では、2000年まではガビチョウの生息は確認されていなかった(日本野鳥の会神奈川支部編, 2002; 図2-a)。その後、2001年から2005年の間に栄区と鎌倉市で生息が確認され(日本野鳥の会神奈川支部編, 2007; 図2-b)、以降は磯子区、金沢区、港南区、南区においても生息が確認されている(日本野鳥の会神奈川支部編, 2013; 図2-c)。本調査では、これまでに本種の生息が確認されていなかった磯子区南部(峯市民の森、坪呑公園)や、鎌倉市中部(源氏山公園、鎌倉中央公園)においても分布が確認された(図2-d)。また、新たに分布が確認された調査地は、いずれも円海山緑地の縁辺部にあたる場所であった。

分布域の全体的な変化をみると、本種は2000年以前には本調査地域に分布していなかったが、2001年以降には円海山緑地を中心として分布域を拡大していた(図2-b, c, d)。

考 察

神奈川県東部におけるガビチョウの分布域とその変化についてまとめると、以下のことが明らかになった。

1) 本種は円海山緑地とその周辺域に分布していたが、市街地の中で孤立した緑地の多くで生息を確認できな

表 2. 直接観察およびさえずりによるガビチョウの確認記録

番号	生息確認日	場所	個体数	植生の相観	低木層・草本層の 優占種	発見時の 行動
1	2013/12/01	峯市民の森	5羽以上	広葉樹二次林	アズマネザサ	採餌
2	2013/12/14	鎌倉中央公園	4羽以上	ササ草原	アズマネザサ, キブシ	移動
3	2013/12/21	本郷ふじやま公園	2羽	広葉樹二次林	アズマネザサ	採餌
4	2014/01/04	権現山	—	—	—	さえずり
5	2014/02/23	鎌倉中央公園	5羽前後	広葉樹二次林	アズマネザサ	採餌
6	2014/03/08	本郷ふじやま公園	2羽	広葉樹二次林／針葉樹人工林	アズマネザサ	採餌
7	2014/03/26	散在ガ池森林公園	1羽	広葉樹二次林	アズマネザサ	移動
8	2014/04/05	源氏山公園	—	—	—	さえずり
9	2014/04/12	坪呑公園	1羽	広葉樹二次林	アズマネザサ, アオキ	採餌
10	2014/04/19	峯市民の森	—	—	—	さえずり
11	2014/05/03	鎌倉中央公園	—	—	—	さえずり
12	2014/05/04	本郷ふじやま公園	—	—	—	さえずり
13	2014/05/24	瀬上市民の森	—	—	—	さえずり
14	2014/05/24	横浜自然観察の森	—	—	—	さえずり
15	2014/05/24	瑞泉寺	—	—	—	さえずり
16	2014/07/06	寿福金剛禅寺	—	—	—	さえずり
17	2014/07/06	源氏山公園	1羽	広葉樹二次林／針葉樹人工林	アズマネザサ	移動
18	2014/07/26	散在ガ池森林公園	—	—	—	さえずり

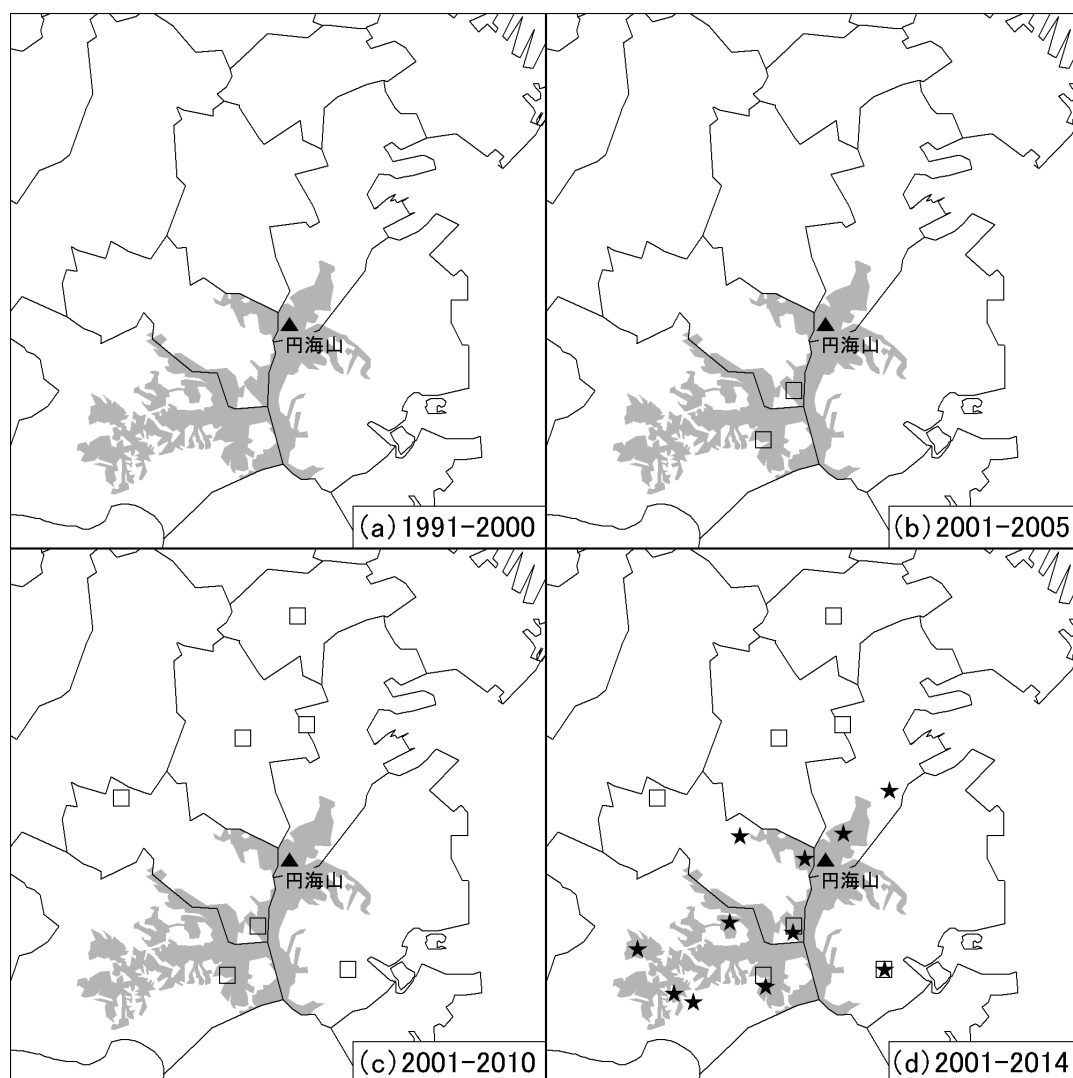


図 2. 1991～2000 年 (a), 2001 年～2005 年 (b), 2001～2010 年 (c), 2001～2014 年 (d) におけるガビチョウの分布域。文献に基づくガビチョウの生息地を白四角 (□), 本調査による生息確認地点を星印 (★) で示している。分布域は、日本野鳥の会神奈川支部編 (2002, 2007, 2013), および本調査結果から作図した。図中の灰色で示した部分は「円海山緑地」を示している。国土地理院承認 平 14 総複 第 149 号。

かった(表2, 図1)。

2) 本種は2001年以降に円海山緑地から周辺域へと分布域を拡大しており, 円海山緑地の縁辺部にあたる地域で新たに生息が確認された(図2)。

これらの結果より, 本種が分布を拡大するにあたり, 最初に大規模な緑地に定着した後, 緑地を伝ってその周辺部へと分布を広げていくと考えられる。本種は主に低標高の山地や丘陵地の森林に分布を広げている(佐藤, 2000; 山口, 2000)と報告されているが, これは本研究の結果とよく一致している。すなわち, 本調査地域では円海山緑地を中心とした連続的な緑地の存在が, 本種の分布拡大に寄与していると考えられる。

また, 本調査地域は標高200m未満の丘陵地と平野で, 温暖な無雪地帯となっており, 本種の分布を制限するとされる高標高地や多雪地帯(Kawakami & Yamaguchi, 2004)は存在しない。加えて, 本種は林縁部(藤井・四角目, 2005), 大学のキャンパス内の植栽木と生垣(宮澤・鈴木, 2013), 民家の庭先(田淵, 2010)など, 森林以外の環境でも営巣が観察されており, 断片的に残された緑地でも繁殖可能であることが示唆されている。従って, 現時点では生息が確認されていない孤立した緑地でも, 今後, 本種が定着する可能性は高いと考えられる。

引用文献

- 藤井 幹・四角目勝二, 2005. 神奈川県におけるガビチョウの営巣記録. 神奈川自然誌資料, 26: 73-74. (online).
堀田昌伸・大原 均・齋藤 信・杉山 要・北澤千文, 2011. 長野県における特定外来生物(鳥類), ソウシチョウ *Leiothrix lutea* とガビチョウ *Garrulax canorus* の生息状況. 長野

- 県環境保全研究所研究報告, 7: 19-22.
鎌田輝男, 2014. Kenmap ver.9.11. Online. Available from internet: <http://www5b.biglobe.ne.jp/~t-kamada/CBuilder/kenmap.htm> (downloaded on 2014-07-21).
川上和人, 2004. 三つの限界: 移入種ガビチョウの挑戦. 森林科学, 42: 82-85. (online).
Kawakami, K. & Yamaguchi, Y., 2004. The spread of the introduced Melodious Laughing Thrush *Garrulax canorus* in Japan. *Ornithological Science*, 3: 13-21.
宮澤絵里・鈴木惟司, 2013. 東京都八王子市における移入鳥類ガビチョウの営巣場所と繁殖活動. 日本鳥学会誌, 62(1): 38-44. (online).
日本生態学会編, 2002. 外来種ハンドブック. 390pp. 地人書館, 東京.
日本野鳥の会神奈川支部編, 2002. 20世紀神奈川の鳥—神奈川県鳥類目録Ⅳ—. 340pp. 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.
日本野鳥の会神奈川支部編, 2007. 神奈川の鳥 2001-05—神奈川県鳥類目録Ⅴ—. 196pp. 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.
日本野鳥の会神奈川支部編, 2013. 神奈川の鳥 2006-10—神奈川県鳥類目録Ⅵ—. 362pp. 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.
坂田有紀子・西 教生, 2010. 三ツ峠山南東斜面における植生および鳥類相. 都留文科大学研究紀要, 71: 1-22. (online).
佐藤重穂, 2000. 九州北部におけるガビチョウ *Garrulax canorus* の野生化. 日本鳥学会誌, 48(3): 233-235. (online).
生物多様性センター編, 2004. 第6回自然環境保全基礎調査 鳥類繁殖分布調査報告書. Online. Available from internet: http://www.biodic.go.jp/reports2/6th/6_bird/index.html (downloaded on 2014-06-09).
田淵俊人, 2010. 神奈川県相模原市緑区内郷地区(旧相模湖町)の野鳥(2000年~2010年). BINOS, 17: 7-16.
山口喜盛, 2000. 神奈川県におけるガビチョウの野生化について. BINOS, 7: 43-50.

小嶋紀行: 株式会社ヴァル研究所